

レヴィチン運輸大臣スピーチ

皆様とお会いするのは 2007 年 2 月に開催されました第 2 回日ロ投資フォーラム以来のことです。2008 年後半に国際経済がかくも深刻な事態に陥るとは誰も予想していなかったことです。このような状況にもかかわらず本日セミナーを開催することができたことは大変有意義なことです。本日のセミナーにご参加いただきました皆様、ならびにセミナー開催に向けてご尽力いただきました皆様に対して感謝申し上げます。さらに、22 カ国 9 国際機関の代表からなる「交通分野における地球環境・エネルギーに関する大臣会合」の東京開催について、日本の国土交通大臣に対して感謝申し上げます。

本日のセミナーにはロシアのビジネスマンの代表も参加しています。ロシア側報告者はネドセコフ運輸次官、ロシア鉄道のラピドゥス副社長、シェレメチェボ空港のヴァシレンコ社長、ムルマンスク運輸網社のシャポヴァリアンツ社長です。ムルマンスクと日本の距離は非常に遠く何故にムルマンスクのプロジェクトを紹介するのかと疑問に思われる方もいるかと思いますが、日本とムルマンスク間の北極海航路が実現すると日本と欧州を最短距離で結ぶことが可能となります。では私の報告に入らせていただきます。

まず最初に、現在我々は困難な経済情勢に直面していることを指摘しなければなりません。しかし運輸分野は商品市場において需要を生み出す分野であり、職場を生み出す分野です。ロシアの運輸分野は約 350 万人を雇用しており、1,000 万人以上が運輸関連分野で働いています。現在の我々の課題は彼らの仕事を確保することであり、安定した受注を確保することです。ロシア政府は運輸分野において金融危機に対抗するための支援措置をとっています。我々にとって「危機」とは「挑戦」であり、次の成長段階への準備を意味しています。日本語でも危機という漢字は「危」という字と機会・チャンス「機」から成り立っています。よって我々は危ない点を分析して成長のための機会を見出さなければなりません。

このように困難な経済情勢ではありますが、ロシアの運輸分野は金融危機以前に決められたプランに沿って融資を受けています。その上、運輸分野がロシア経済においてより多くの発注ができるように追加融資が準備されています。現在我々は一連の大規模インフラプロジェクトの決定を行っています。我々にとって最も重要な問題はアジア～欧州～米国間のトランジット輸送問題です。ロシア内を通過することでこれらの地域間の貨物輸送を最短距離で行うことができます。欧州～アジア間の年間貿易高は約 6,000 億ドルにのぼります。現在ロシアのトランジット輸送は本来持っているポテンシャルの 5%しか利用されていません。他の大多数の国々と同様にインフラプロジェクト実施のための資金は国から拠出されるものが最も多いのですが、莫大な資金を要するため、最近ロシアにおいて民間投資の支援を得て大規模プロジェクトを開始しました。スライドをご覧くださいと、ロシアのシベリア地域および極東地域に多くのインフラプロジェクトがあることがお分かりいただけます。これらのプロジェクトは「コンセッション」で実施されます。皆様の中にはプロジェクトにすでに参加されたり、参加を計画されている方々がいらっしゃると思います。ロシアではこのようなプロジェクトに外国投資家が参加するための法的基盤がすでに整備されています。

昨年末に「2030 年までのロシアの運輸戦略」が採択され、2015 年までの直近の 5 年間の融

資の財源が確定されました。ロシア運輸省の Web site に本プログラムに関するすべての情報が掲載されています (<http://www.mintrans.ru> ロシア語のみ)。直近の5年間で我々にとって最も重要なプロジェクトは「東西国際輸送回廊 (International Transport Corridor “East-West”)」です。2015年までのプログラムではコンテナ貨物輸送量の200万TEU (20フィートコンテナ換算)から400万TEUへの増加が見込まれています。日本の皆様にはシベリア鉄道を利用して日本から欧州に向けた貨物輸送を増やすことを検討していただくようお願いいたします。我々はシベリア鉄道のコンテナ貨物輸送速度を1,000km/日まで上げることを計画しており、これにより高速輸送が可能になります。「2030年までのロシアの運輸戦略」は2015年までの第一段階と2016年から2030年までの第二段階に分けられます。2030年までの予算からの融資総額は約500億ドルとなります。発展計画では特にロシア極東地域に重点が置かれています。2012年にウラジオストクにおいて開催が予定されているAPEC首脳会議に向けて、我々はこの地域での大規模インフラ建設プロジェクトに着手しました。本日ご出席の皆様の中にもプロジェクトに興味をお持ちの方々がいらっしゃるかと思いますが、本日のセミナーにおいてプロジェクトについてのプレゼンテーションが行われる予定です。

もちろん国境を越える際の貨物の関税手続きを簡素化することが非常に重要です。ロシアでは貨物がスムーズに国境を越えられるように特別な機関の設置が決まりました。

極東地域発展プログラムでは特に資源の開発が予定されている地域が優先される予定です。発展のための新しいメカニズムとして特別経済区が導入されており、港湾特区の第1号がワニノ港です。東シベリア地域で生産された鉱物資源がワニノ港から東南アジア地域へ輸送されます。また、ワニノ港はムルマンスクに通じる北極海航路の港になります。

ロシアと日本のビジネスマンが協力することが重要であると考えます。ビジネスを行うためには貨物のスムーズな輸送が必要です。我々は日本の皆様と建設的な対話を行う用意があり、皆様からのご提案、ご意見をお待ちしています。

本日はセミナーにお集まりいただき感謝申し上げます。セミナー終了後に私は金子・国土交通大臣との会合が予定されており、運輸分野における協力の発展に関する覚書に調印する予定です。これは日本とロシア間の建設的な協力関係発展のための第一歩になると考えます。

最後に本日お集まりの皆様には新年のお祝いを述べさせていただきます。皆様のご健康と困難な一年のご成功をお祈り申し上げます。このような困難な時期は我々の力を示すことのできる良い機会です。しかし各国は自国のみで困難を乗り越えることはできず、協力を通じてのみ困難を克服できると考えます。

ご清聴ありがとうございました。